

下の公害にあてはまる物質名や河川名、その地域などを記号で答えなさい。

	原因となった物質	地域	河川名・その他
	ア.二酸化イオウ イ.有機水銀 ウ.カドミウム エ.鉍毒	ア.新潟県 イ.三重県 ウ.熊本県 エ.富山県 オ.栃木県	ア.阿賀野川 イ.神通川 ウ.工場排煙 エ.工場排水 オ.渡良瀬川
水俣病	(1)	(2)	(3)
第二水俣病	(4)	(5)	(6)
イタイイタイ病	(7)	(8)	(9)
四日市ぜんそく	(10)	(11)	(12)
足尾銅山鉍毒事件	(13)	(14)	(15)

そして、公害を多いものから並べると(16…記号で)になります。

- ア.騒音→大気汚染→悪臭→水質汚濁 イ.騒音→大気汚染→土壌汚染→水質汚濁
ウ.大気汚染→騒音→水質汚濁→悪臭 エ.大気汚染→騒音→悪臭→水質汚濁



また、日本の公害反対運動の原点といわれるのが(17…?事件)で、このとき、先頭に立って公害反対の運動をおこした人物が(18…人物名を漢字で)です。

1971年に公害を防いで環境を守るための国の役所がつくられ、1993年には(19…漢字で?法)という法律が定められています。そして、2001年にこの役所は(20…?省)に格上げされています。

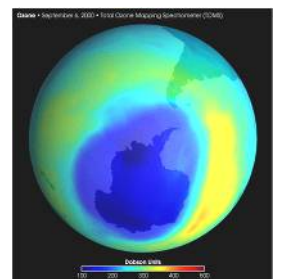
また、都道府県や市町村は環境を守るために、その都道府県や市町村だけに適用されるまじりの(21…漢字2字)を定めています。また、滋賀県は琵琶湖の水質汚染に長く取り組んで来たことから(22…アルファベット)未来都市に指定されています。(22)とは、(23…漢字四字)な開発目標の事です。



国連持続可能な開発サミットで採択されたSDGsの目標

産業革命以降は、多くの石油や石炭などの(24…?燃料)が燃やされ、二酸化炭素が大量に放出される一方で、発展途上国での森林の伐採が進んだことから、大気中の二酸化炭素の濃度が高くなり、地球の温暖化がおきているといわれています。そのため、二酸化炭素などの気体は(25…?ガス)といわれています。このまま、地球の気温が上がると、(26…?大陸)などの氷がとけ、海面が上がり低地が水没して耕地が失われ、食糧不足になり、海の生態系もくずれてしまいます。二酸化炭素の排出が多い国の1位と2位は(27…1位と2位の外国名を順に)です。

さらに、オゾン層は、太陽からの強く有害な紫外線から地球の生物を守っています。このオゾン層の薄いところは、まるで穴があいているように見えるために(28…カタカナ)といい、オゾン層を破壊している原因物質が(29…?ガス)です。このオゾン層は、大気の上空で空気中の(30…気体名)と結びついてできることが分かっています。



さらに、発展途上国では、人口増加による食料不足のために伐採や放牧がくり返される過度の(31…森林や野原を焼き払って草木の灰を肥料にして畑をつくる?農業)も行われています。そのため、熱帯林の再生能力が失われて緑がもどらない(32…?化)も進んでいます。地球の(33…?の?)といわれる熱帯林が減少すると、温暖化が進むばかりではなく、酸素の供給量も減少するため、生態系に深刻な影響をあたえてしまうのです。



自動車の排気ガスや工場・発電所から硫黄(34)や窒素(34)が放出されています。これらが大気中の水蒸気と反応して酸性雨になります。多くの森林が枯れ、建物や彫像が溶け出し、耕地や湖沼が酸性になって農作物や魚介類に被害が出ます。



また、都市部で放出された硫黄(34)や窒素(34)に太陽の紫外線が当たると、光化学反応が起きて、大気中に光化学オキシダントが発生し、この光化学オキシダントの濃度が上昇すると、空気にモヤがかかったような状態になります。これが(35)です。のどや頭が痛くなり、意識を失うなどの被害が出ます。

さらに、川や海にはよごれをきれいにする自浄能力があります。水中の(36…カタカナで)などの微生物が汚染物質を分解してくれるためです。しかし、世界中の川や海に自浄能力をこえた汚染物質に加えて、分解されないプラスチックごみが流れ込んでいます。そのため、食物連鎖のたびに有害物質がたまっていき生態系が悪化しているのです。そして、プランクトンと同じ大きさになったプラスチックのごみを(37…カタカナで)といいます。

南アメリカのペルー沖の太平洋で海水の温度が上がり、異常気象がおこる(38…?現象。スペイン語で男の子の意味)がおきています。日本では暖冬や冷夏になりやすく、梅雨明けが平年よりも遅れるようになります。この反対が(39…?現象)です。日本では夏の猛暑が続き、冬はより気温が低くなる傾向にあります。

体内に入って、体内のホルモンと似たはたらきをし、体の機能のバランスをくずす人工的な物質を(40…?ホルモン)といいます。人類がつくった最強最悪の物質といわれる(41…カタカナ)やポリ塩化ビフェニル(42…略称をアルファベットで)などのことです。

ビールびんなどは大きさや形が同じため、洗ってくりかえして使うことができます。このようなびんを(43…カタカナとひらがなで?びんと答える)といい、こうしてくりかえして使うことを(44…カタカナ)といいます。さらに、ビールの値段に容器(びん)代を上乗せして売り、買った人が容器(びん)を返すときに、お店の人が容器代を払い戻してくれるしくみを(45…カタカナで)といい、このしくみも資源の節約につながっています。また、いらなくなった服などを持ち寄って、おたがいに売り買いするような(46…カタカナで)という場もあります。このように、無駄をなくし、ものを大切にして、不要となって捨てられるものをできるだけ無くすようにするという考え方から、無駄な包装をこことわたりする努力のことを、減らすという意味から(47…カタカナで)といいます。



こうしたことから、レジ袋^{ぶくろ}の有料化も進み、まだ食べられるのにもかかわらず捨てられている食品や、そうした問題のことをいう(48…漢字とカタカナ)を減らす取り組みも進められています。

また、安全に食べられるのに、包装^{ほうそう}が破^{やぶ}れていたり印刷ミスがあったりして、商品にならない食料を会社から寄付^{きふ}してもらい、必要としている人々に届^{とど}ける活動を(49…カタカナ)といいます。